

# 全教神協広報

第一〇九号

全国教育関係神職協議会

〒151-0053

東京都渋谷区松涛1-1-1

本社本庁内

電話 〇三三三七九八〇一一

FAX 〇三三三七九八〇一一

題字 諏訪秀一氏

## ご挨拶

全国教育関係神職協議会 会長 寶來 扶佐子



令和三年八月十日に開催された総会に於いて、この歴史ある全国教育関係神職協議会の会長職を拝命致しました。

六十年の時を刻んで、戦渦とも言うべき荒れた時代(すなわちGHQの残した悪しき風潮で、教育界と神界は特に荒んだ風が吹いておりました)に、先輩諸兄は我が国の国柄や文化、風習を尊重した基本理念を柱として、子孫が誇りを持って成長

する事が出来る教育の環境を作らねばと立ち上がり、爾来、力を合わせて来られました。占領下の約七年間に日本人が日本人たんとする生き様がいかに抑えられ歪められたのか、特に我々全教神協の皆が関わる学校や社頭に於いては、古からの歴史や文化、伝統や倫理道徳的な考え方を否定する方向に向けられました。そうした中で昭和二十二年に成立した『教育基本法』は、我々から見ると至らない所が多々ありました。教育基本法の見直しを求めて先輩達は地道な活動を続けられ、ようやく平成十八年に改正の第一歩を踏み出しました。この改正により、学校と地域、社会の連携の意味合いも含めた、新しい教育の形が示されました。

そして令和の今、新たな困難の時代に突入しました。中国武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症。新しい御代を寿ぐ令和元年末に発生が伝えられた時は、まさかこれほどまでの悲惨な状況に、世界中が震撼するとは思ってもおりませんでした。昨年は全国のみならず地区においても研修会が延期や中止となり、諸会議は書面決議や遠隔操作による開催となりました。神社の祭礼も参列者の少ない寂しい中で、御神事が粛々と斎行されました。神賑行事も殆ど出来ず、地域を巻き込んだあの賑わいはどこへ行つてしまったのやら。

現在は小学校ですらパソコンやタブレットを駆使した学習となつていきます。全教神協でも昨年来、役員会はもちろんの事、六月の現職教員等研修会、八月の中央研修会及び総会を、WEB会議システムを利用して開催致しました。新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない今日にあつては、ますます遠隔操作による会合の必要性が出てくると思えます。個々人が遠隔操作の出来る環境を充実させる事で、コロナウイルスを気にすることなく会合に参加出来る

る事に気付くでしょう。対面での会議は大切ですが、WEBを使った参加システムを併用する事で、プロックや単位会の研修会は開催しやすくなるのではないのでしょうか。

この時期に組織の拡充と会員の増強、何よりも全国四十七都道府県すべてに教神協を立ち上げて頂き、各地区の連絡会や研修会を充実させたく思います。IT機器は現代の生活必需品の目録のトップです。時代に即した技術を取り入れて、積極的に活用しましょう。現在全教神協も公式サイト開設に向けて動いております。まずは対内的に、会員すべての方に御覧を頂き、関わって頂く事が第一歩だと思います。横の繋がりを強く結び、教科書問題はじめ、各地域の伝統や文化などの素晴らしさを共有して取り入れ伸ばし、発信出来ればと思います。

結びに、新型コロナウイルス感染症に加え、地球規模の天変地異が多発しております。このような時代には地域や人との絆が不可欠です。さらに我が国を取り巻く国際情勢も危惧される中、日本の心を取り戻し、日本の教育を正す組織であり続けたいと決意を新たに致しました。